小中学校再編に係る意見記入用紙回答一覧（ネット回答・意見箱）

	ご意見
1	スクールバスは出るの？合併するんですか？
2	他校から編入するにあたり、人間関係などが変わるので、心のケアなどをしっかりしてほしい
3	再編については、児童数の減少等を考えるとやむを得ないものと理解しております。　一方で再編先が佐伯小学校となる可能性があるとのことで、保護者として一点懸念があります。　佐伯小学校は外観や周辺環境を含め、とても歴史のある学校だと思います。その歴史や伝統は大切にしていただきたいと思う一方で、校内については老朽化が進んでいると感じる部分も多く、正直なところ「古い」「汚れている」と感じる箇所もあります。　築年数を考えれば、歴史のある校舎であることは理解できます。しかし、再編後も長期にわたって多くの児童が学ぶ場所になることを考えると、安全面や快適な学習環境という点で本当に適した校舎なのかという不安があります。　また運動場についても、広さや形状、実際の使いやすさを考えると東小学校のほうがより広く、児童が快適に活動できるのではないかと感じています。　もし再編先として佐伯小学校が候補となっている理由の一つに他の小学校と比較して入学する児童数が多いことなどがあるのであれば、単純に児童数だけを基準とするのではなく、再編後に通う児童が「安全に」「快適に」「長く」学ぶことができる環境であるかという点も十分に考慮していただきたいです。　再編そのものについては理解しておりますので、だからこそ再編先の選定にあたっては、校舎の老朽化や安全性、運動場の広さ・使いやすさなど、実際に児童が学校生活を送る環境についても比較・検討していただきたいと思います。　必要であれば再編に伴って校舎の改修・改築等を行い、どの学校が再編先となったとしても児童が安心して学校生活を送ることのできる環境を整えていただくことを望みます。
4	統合した後の使用しなくなった校舎の使い道が明確にあると助かります。教育関係だけでなく、福祉（障がい分野）でも使用できていくと助かります。
5	少子化により再編はやむを得ないが、長距離通学等の負担（子ども、そして保護者）、学校が無くなるちいきのさびしさ等の対応をしっかり取り組んでほしいと思います。
6	統合に反対ではありません。 ですが、小規模校を残して欲しいと思っています。小学生と幼稚園の子供がいます。保育園から東小に誰も知らない中への入学です。ですが1番上の子は小規模校だからこそ、先生の目が行き届くからこそ友達もすぐにでき、勉強も苦手ながらやってこれました。輪に馴染めない子ども、勉強が苦手な子ども、いろんな個性を持った子どもがいます。その中で全ての学校を統合してしまうことは不安になります。親にとっても子どもにとっても大人数がいいとは限らないと思います。そして、入学と卒業が違う学校とは…となってしまう点に関しましてはなるべく早めの対応方法など分かればとても助かります。わたし自身の母校は一つも残っていません。子どもたちにそんな寂しい思いはして欲しくないので、空き校舎の再利用も、学校で違う文化も残して卒業生の思い出を引き継げるような良いとこ取りできる統合校ができますよう願っています。
7	再編しないでほしいという声が多い一方、まだまだ人口が減り、再編せざる得ない状況に陥ると推測されます。そのうえで、小規模での教育はすでに文化となっている可能性が高く、本匠における小規模特認校に対するニーズが高いこともあり得る（また、そういう特性を持つ児童・生徒も一定数いる）。再編せざるを得ないとき、直川・弥生から本匠に入学したいという調査が必要に思う。
8	佐伯小とかかわりたい
9	遠方の子供は親が車で連れて行くのですか？合併し、最後の思い出作りの修学旅行などで子供同士上手くいくのか？思春期に入っているので、子供は直ぐに仲良くなれると言う年齢ではないので。各学校での方針が違う状況で育った子供が意見のぶつかり合いでイジメはでないのか。
10	複式学級が増えている状況を考えると統廃合は仕方ないと思うが、大人の都合だけではなく、子供が楽しく通学できることを第一に進めてほしい。開校のタイミングも、状況によっては後ろにずらしてもいいと思う。人数について、発達障害など特性のある子供が一定数いること、これから外国籍の子供も増えると予想されるので、そういった子供たちも指示が入りやすいよう、なるべくクラスの人数が多くならないようにしてほしい。統廃合により子供の通った学校がなくなるのは非常に寂しいが、環境が良くなるのであれば子供や保護者も前向きになると思う。子供のためになるなら、できる範囲になるが協力したいと思う。
11	意見交換会を開催していただきありがとうございました。冨高市政が掲げるいつもこどもがまんなかを基本に、佐伯の教育にとってチャンスだととらえ、ポジティブに議論したい。少数精鋭、まんべんなく目の届くクラスにしてみては。複式学級を積極的に取り入れては。地域とのつながりも考慮した再編を。意見交換しやすい雰囲気づくり、ワークショップ形式にする？大人だけでなく子供にも納得のいく説明ができると良い。なるべくたくさんの方の意見を拾えるとより良い。これを機会に空き校舎を活用して、多様な学びができる場所を作っては。
12	佐伯東小学校区の児童が佐伯小学校に通う場合、葛港に住む児童の通学距離はおおむね３㎞となる。スクールバスなど、柔軟な通学方法の検討をお願いします。
13	まず、前提としてあくまでも案と言われておりますが、みんなが声を揃えて反対をしたらこの話は無くなるのでしょうか？そして大幅に統合をしていると思います。仮に旧市外、隣接する学校同士での統合ならまだ話はわかります。ですがいきなり2倍から20倍の人口になるようなことが起きればやはり敏感に反応するお子さんもいらっしゃると思います。その中でどのように接して、ケアを行っていくのか気にもなります。まずはすっ飛ばしてじゃあこっちはこんだけ合体しましょう！ではなく、段階的に隣接する学校から統合して行って最終的に大きく統合すると言った形をとった方が合理的でもあり、子供の負担や親御さんの負担も少しは減るのではないかと思います。もう一つ、仮に統合されたとして、子供達を普段から見てくださってるのは先生方です、その先生も全員統合先の学校にいくわけではないと思います。そうすると、子供は学校で誰を頼れば良いのでしょうか？普段から見てくださってる先生方は各個人の特性や個性など理解した上で接して頂いていますし、その先生が次の学校でもいない。新しい学校で知らない先生ばかり。これではあまりにも可哀想です。そう言った表面的な問題ではなくしっかり保護者や児童と問題についてすり合わせが必要になるかと思います。行政や自治体は数字だけを見て判断をし本質から目を逸らし、子供の気持ちを考えない。そういうわけではないにしても結果的にそうなりかねません。なのでまだ時間がある？ないのか。その辺も曖昧でいつまで意見交換していれる段階かもわからぬまま気づいたら手遅れで統合します。恐らくこのパターンになると思うんですが、全てを明確に期日内にアンケート取るなら取る。反対意見が過半数占めたら本当に辞めるのか？そう言ったとこまで突き詰めて考えてください。見える部分だけで話を進めても誰も喜びません。

14	①小規模校の良さは生活面でも学習面でも先生たちがきめ細やかに接することができるところだと思います。特に学習が苦手な子やその保護者にとっては有難いのではないかと思います。今、大分県の1クラスの人数は最大35人？30人？とかだと読んだのですが、20～25人くらいからが良いのではないかと漠然と思っています。現場の先生たちはこどもたちのためにはどうしたらよいと考えているか知りたいです。②国の基準に従って佐伯市の教員数が決まると思うので、学校が少なくなっても結局は学級数により先生の配置数が決まり、佐伯市内の先生の数は減るのではないかと思います。その点では、現在小規模校に通うこどもたちにとってはデメリットと感じると思います。③東北や北陸は、国の基準より少ないクラス人数にするために県や自治体独自で教員を採用しているところもあると聞きました。この再編によって、県からの支援は無いのでしょうか？子育て満足度ナンバーワンを掲げていますが、出産、不妊治療、移住などへの財政的な支援はありますが、教育への支援として教員の働き方改革を行わなければ教員不足は止まらないと思います。部活が地域へ移行したことはとても大きな一歩だと思いました。④教員不足のため、教員しかできない仕事以外は他の人を雇ってしてもらうことはできないのでしょうか？事務作業が多過ぎると聞きました。保護者としても、先生にはこどもたちと向き合う時間を多く取ってほしいと思っています。先生に余裕がなければ、こどもたちにとっても良くないと思います。⑤保護者対応も多くの時間を要すると思いますので、保護者の意識を変えるような講演会なども必要だと思います。びっくりするようなクレームを学校にしているという話を聞きました。本当かどうかはわかりませんが。
15	再編はやむなしですが、決定時のメリット・デメリットをしっかりと伝え、納得した結果へ辿りついてください。
16	子どもが少なくなり、小中学校が統廃合されていくことは時代なのだと、肯定的な意見を持っています。また子どもの活気あふれたクラス、学校が子どもたちの豊かな経験となり、情緒が育っていくという期待を持っています。反面、自身の子が大きな学校、多くのクラスメイトの中で上手くやれるのだろうかという不安を抱いている親が多いのも確かだと思っています。「マンモス校を避けて、少人数のクラスがある学校に行かせたい」と校区外通学を選択する保護者も少なくないと思います。「ひとりの先生に35人の子どものいるクラスと、ひとりの先生に10人のクラス。どちらがよく自分の子を見てくれか」という質問に多くの親は後者と答える方が多いのではないでしょうか。この親故の視点、不安をご理解頂き、対策をぜひ、資料に明記していただきたい。具体的に気になった点は「教員の配置数」が添付の資料に載っていなかったことです。仮に案のとおり統廃合が実施されると、学校数は減少します。しかし、その年度の児童総数は変わりません。さて、佐伯市内に配置される教職員の人数はどうなるのでしょうか。国や県の配置要件、基準もあると思います。しかし、佐伯市の子どもに関する事です。”少子化”をネガティブに捉えるのではなくて「少子化の時代にしか出来ない教育、体制」を検討頂き、是非とも子どもに関われる教職員が多い体制を作ってもらいたいと思います。加えて、教員へ、その負担を負わせたい訳ではありません。この点も非常に重要であると思います。教員の健康は巡り巡って子どものためになります。また噂程度の話ですが、市内のある中学校では、教職員配置の課題により別室登校をする子が過ごす空き教室を午後から閉鎖し、教室に上がるか下校するか迫るような対応がある。また別の小学校では別室登校をする児童が空き教室でひとり（他の教員の支援がない状態）で放課までただ過ごすだけだったという話を聞いたことがあります。教員の先生方の負担も大きく、複雑化しているのでしょう。また力のない親も増えているのかもしれません。ぜひ、今回の再編が「教員の人件費の縮小」の為ではなく、「こどものためにこの選択をして良かった」と思えるものにしていただきたいと強く思います。是非とも教職員数の確保をお願いします。今回の再編で統合の対象になっていない小中学校も教員が増え、教育が一層充実することができればすべての子どもたちが利益を得ることに繋がると思います。
17	この少子化のご時世には仕方ないと思いますし、子どもたちにとってはよいこと、前向けることとなると思います。先々を心配しすぎるのではなく、一つ一つ問題に取り組んでいけたらきっとよい方向に向くと思います。実現まではまだまだ時間があるのでいろいろ小さな問題を消していってほしいと思います。
18	今回の再編対象になっていない鶴岡小学校において、メリット・デメリットはないのでしょうか。あるとすればどのようなことでしょうか。ご教示いただけると幸いです。
19	これだけ高齢化、少子化が続いていると、仕方ないと思います。がんばってください。
20	地域の特性がなくなるので再編反対です。
21	バスでいかせてほしい。まず再編しないで思い出の場所がなくなるから。
22	スクールバスないっておかしい。思い出の場所なくなる。せめておばけ屋敷とか遊ぶとこにして！在学中になくなるのはおかしい。合併したくない！
23	こどもたちは、急に全校300人超えることに不安が強いです。東雲と八幡が合併なら賛成ですが、4校を佐伯小学校に統合するのは反対。鶴岡に合わせた人数になるように無理矢理寄せ集めた風にしか思えない。それに後付けで言い訳のようにいろいろメリット等を言ってるようにしか思えない。大人の勝手な都合に子供を巻き込まないでほしい。子供のことを考えているというなら子供の意見を一番に聞いて、それから案とかを出すべき。アンケートについても、このような統合をする予定ですが賛成ですか。反対ですか。のような内容なら、確実に反対が多いと思います。統合に関係ない区域がアンケート対象になっているのも納得がいかない。今日の説明会をきいて、メリットが1つもありませんでした。デメリットしかない統合をこのまま進められるのは不満です。まずは東雲と八幡の統合、その10年後くらいに他と統合にするなど段階が必要と思う。あと多数決をしたら少数の八幡などの学校が負けるのは当たり前。だからあのアンケートの統計を出したところで、無意味だし、無理矢理納得させようとしているようにしか思えなくて、とても不愉快な説明会だったと感じました。
24	小学校・中学校再編のアンケートに答えた際は、『まだ先の話だろう』と思っていましたが、それからドンドン話が進んだ印象を受けています。佐伯市は大分県で4番目の人口数ですが、それほど財政が厳しいのかなぁと思いました。八幡・彦陽は佐伯市内の小学校・中学校からは距離がないようで、あります。それはおそらく地域にしっかり根付いているからかもしれません。市内中心部の佐伯小学校・鶴谷中学校との統合は、いささか配慮に欠けるように思いました。であれば東雲との統合が妥当な案だと思います。八幡・彦陽・東雲校区から、学校が全て無くなるのは、地域にとってもかなりの痛手だと考えます。八幡小と東雲小、彦陽中学と東雲中学の統合が良いのではないでしょうか。是非ご検討ください。
25	生徒の人数が少ないので、いつかは統合しないといけないというのはわかります。ですが、いまの段階ですべきことではないと思います。彦陽中学にいけなくなると、三浦造船～佐伯駅前にかけての狭い道路が通学路になります。自転車専用レーンがないのに、車道を自転車が走行するのはリスクが高いです。9月に自転車も規則が厳しくなっており、安全を考え歩道を走行した場合や車道を走行して事故にあった場合の責任を佐伯市がすべて背負ってくれますか？してくれませんよね？子供のことを考えているといっているのに、安全面への配慮足りなさすぎる。統合するなら通学バスは必須。検討しますではなく、必ず通学バスを出しますと言わないところが、あやふやにして逃げていると感じた。勉強面ばかりにとらわれ、一番大切な命の危険について何も考えていない。また統計を出して賛成が多いから実行するというのもおかしい。仮に小学校の統合先を八幡小学校にしたら、佐伯小の保護者はほぼ全員反対すると思う。反対が少なくなるように誘導している統計だと思った。統合先が八幡小学校にしてもう一方アンケートとってみてほしい。それでも賛成が半数を超えるのかどうか調べてほしい。そちらの思い通りになるように誘導したアンケートでは納得ができない。全員が賛成するのば難しいのはわかっているが、統合先にいかないといけなくなる保護者や児童に対しての配慮が本当に足りなさすぎる。仮に統合した場合、児童クラブに入れないといけなくなり、それだけでも家計の痛手。児童クラブの補助を出すとか、預けている人数が複数になれば値段を下げるなど、なにか対策も考えるべき。八幡なら児童クラブにいかず、徒歩で歩いて帰ることができていたのに、それが難しくなり出費が出るのであれば、そこはそちらが負担すべきことである。案にしては内容が薄すぎる。デメリットしかない統合案。メリットが一つもない。もっとしっかり考えて案を出してほしい。とりあえず、少ない学校を1つにして人数だけ増やした学校にして、経費削減をしたいだけとしか思えない。この案を考えた人達は、自分が同じ立場になったことを想定していますか？子供が事故に合うかもしれないような危ない通学路で学校に通うことになる。小学校の子供がいれば児童クラブに必ず預けることになり、家計への負担が増える。他人事ではなく同じ立場になった場合になって考えれば、こんな薄っぺらい内容にはならないと思う。統合を進めたいのであれば、案をしっかり見直すべき。

26	小学校…徒歩で通える距離に学校がある方が良い。自力で学校に通う力を身に付かせたいから。　子供が産まれ新たに家を建てる際に、わざわざ小学校が遠い場所には建てないです。ますます佐伯市街以外に住む若い人は減ると思います。地域とのコミュニティなどは減る一方かと思います。
27	今の案だと正直言って反対しかありません。自転車のルールもかなり厳しくなってるなか、かなりの距離を自転車通学させたくないし、車で送り迎えも造船所の前がかなり混むし危険なことが多すぎます。　メリットの欄に「集団で学習や活動の充実を図ることができ...」とありますが、全校が少ない分高学年が低学年の面倒をみてくれたりしている今の環境も充分社会性が育まれてると思います。少子化で学校を減らさなければならないのは重々承知の上ですが、そんなに一気に減らして、大人数にしなくても少しずつ減らしていってもいいのではないでしょうか。
28	小中学校統廃合計画について、一市民、そして保護者としての意見を提出いたします。　まず、児童数が多いからこそ経験できる多様性などのメリットがあることは理解しております。しかし、だからといって『児童数が少ない学校は劣っている』という前提で話が進むことには強い違和感を覚えます。 私自身、廃校となった小学校の出身ですが、人数が少なくても地域と深く繋がり、決して劣った環境ではありませんでした。少人数だからこそ先生方の温かい目が行き届き、子どもたちの関係性も非常に良好だと授業参観や行事のたびに実感しています。 一方で、市内の人数の多い学校に通わせている知人からは、大人の目が行き届かずにいじめや不登校が起きているという話も聞きます。人数の多い学校、少ない学校にはそれぞれのメリットとデメリットが確実に存在します。一概に『人数が少ないから統廃合すべき』という安直な結論には賛同できず、トラブルを抱えやすい環境へ子どもを無理に統合させることには強い不安を感じています。　また、今回の計画に関連する『統廃合に納得する』というアンケート結果についても、結果が意図的にコントロールされているように見受けられます。 そもそも、統合先の学校の保護者と、廃校対象となる学校の保護者では、直面する生活の変化や負担の重さが全く異なります。廃校候補に挙がっている地域の保護者の声を正確にすくい上げるためにも、対象を分け、別々にアンケート結果を集計して分析すべきではないでしょうか。　もちろん、あまりにも児童数が少なくなり学校運営自体が困難になるという現実的な課題は理解しています。 しかし、私たちが許容できるのは、かつて西上浦小学校が隣接する八幡小学校と統合したような『隣接地域への統合』までです。生活圏が全く異なる遠方の地域の学校と統合されることは、子どもにも大人にも大幅な生活の変化を強いるものであり、到底許容できるものではありません。　特に通学の問題は極めて深刻です。市はバスを手配すると説明していますが、そもそも佐伯市のバスは1時間に1本あるかないかという現状であり、都市部のように気軽に利用できる環境ではありません。現に私の子どもはバスで通学をしていますが、学校の終了時間とバスの時間がスムーズに合わず、低学年時は国道沿いのバス停で一人で長時間待たされるという極めて危険なリスクが生じていたことがあります。また高学年になれば、学校帰りに友人と過ごしたり、習い事に行ったりする貴重な時間もバス通学では奪われてしまいます。 市が長距離のバス通学を強制することで発生する、こうした子どもたちの日常的な不利益や危険性について、行政側は黙認しているのではないでしょうか。　財政や効率化の波が避けられないことは承知していますが、そのしわ寄せを地域の子どもたちの安全や日常を犠牲にして解決しようとする姿勢には疑問を感じざるを得ません。現場のリアルな声とデメリットに正面から向き合い、計画の抜本的な見直しを強く要望いたします。
29	小規模学校でもよいと思う。合併するのは反対です。子供が通うので学校があり変わればストレスを増やします。今は学校との連携は、とれてますが合併すれば一人一人に関わる時間や相談をしにくい環境を作るのではないのでしょうか。受験時に変わるので心配です。スクールバスも部活動にはいれば保護者が迎えに行かないと行けなくなる。佐伯に行けば帰ってくるまでは心配はあります。
30	八幡小学校が無くなったら子育て世代がこの先八幡や西上浦に家を建てたり、借りたりして住まないと思います。八幡、西上浦は過疎化が急速に進む事は教育委員会はどうでも良い事なのですか？意見交換会で統合されても里帰り交流するから子供達と地域の交流は無くならない。と言った人がいましたが、新たに住む人が居なくなったら子供が居なくなるんだからそんなの夢物語です。適当な事言わないでください。
31	反対です。八幡の説明会でも申し上げましたが、吸収される側はデメリットしかありません。様々意見は出ておりましたが、中学校2年生で受験を控えて転校、頑張って受験勉強してくださいね、お友達も作って下さいね、なんて親の立場では言えません。中学生は人生で一番多感で繊細で反抗期、親でも手がつけられない子も出てくる中でそんな多大なストレスを与えるなんて想像するだけで恐ろしいです。吸収される側は既に人間関係が出来上がっている、グループができているところに放り込まれるのです。　子どもが真ん中、物理的に真ん中に集める政策でしょうか？違いますよね、冒頭でもありました、急速な少子化の中で教育環境を整えるのにはどうしたらいいか日々模索していると。この案が得策とは全く思えません。少人数だからこその強みがあります。お互いが個性を尊重していい人間関係を作っているのがしっかり見えています。説明会にはいませんでしたが、教職員の方々も10人そこそこのクラスを持つのと35人のクラスを持つのなら断然少ないほうがストレスもないかと考えます。先生とのやりとりが保護者とも出来るんです。少人数だからこその強みかと考えます。中には馴染めずにクラス替えを望んでいる児童も居るかもしれませんが、些細な問題にも取り組んで解決しようと考えていただいている姿勢が教職員の方からもみえます。集団行動の心配でしたら、今の人数で集団行動ができているならさほど問題はないかと考えます。佐伯市は合併を繰り返したからこそ九州1の広さを持つ市だと聞きます。学校が点在してしまったのは仕方のない事です。そして昨今の加速する少子化がすぐに改善されるとは思えないのも事実です。でしたら逆にそれを活かしてそれぞれの学校と交流する、もしくは本匠小学校のように小規模校を点在させてお互いの学校と交流する。例えば遠足をふた学校合同でして同じ目的地に行く、ですとか、八幡は11月には学習発表会がありますが、それを他の学校でする、そしてお互いの地域について学び合うですとか、点在しているからこそ知らないこともあります。私も宇目の神楽とかも知りませんでした。学校単位で別の学校と交流し合う、そんな教育環境も楽しいのではないかと考えます。都会の真似事で子どもが少なくなったから合流させよう、とするのではなく、八幡なら今でしたらジョーヤラ、去年は学習発表会でもしておりました、それを例えば宇目の学校で発表して、もし宇目でもそのような発表会があれば八幡でしてもらう、などそんな形でも良いのではないか、その方が他県や他の市町村から見て「面白いことやってるな、佐伯市」と思っていただけるのではないかな、と考えます。その方がジョーヤラなど地域文化が衰退していかないのではないかと。そしてこの合併案の1番欠けているところは渦中にある子どもたちの意見を聞かないまま動いてしまっているところです。もう一度申し上げますが子どもが真ん中、より良い教育環境を整えるために皆様がご尽力していただいたのは理解できますが、最善の策とは到底思えません。この案の通りになってしまうのは遠い遠い未来だと考えたいです。子どもたちは八幡小学校が好きで、彦陽中学校に通いたい。と言っています。どうかこの居心地のいい場所を奪わないでいただきたい!!!!!極論児童1人でも小学校として運営はできるんですよね？津久見でそのような学校があり、運動会が困っているとたくさんの芸能人や、卒業生が集まって運動会をした。というTVを見たことがあります。これは極端な話なので賛否はあるかと思いますが、この統合案については今一度踏みとどまって考え直して頂ければと切に願います。どうかよろしくお願い致します。　自分の命より大事な子どもの環境のことですから親もしらしんけんです。長文失礼しました。よろしくお願い申し上げます。
32	少人数クラスには、少人数だからこその良さがあると感じています。私自身、少人数クラスで困っていることはなく、むしろ先生の目が一人ひとりに行き届きやすいため、学習面でとても助かっています。クラスの人数だけで判断するのではなく、少人数ならではのメリットにも目を向けていただきたいです。　また、学校の統廃合が進められる場合、通学面での安全確保にも大きな不安があります。例えば、駅前のトンネルなどを自転車で通学することになれば、交通事故の危険性が心配です。子どもたちが安心して通学できるよう、行政による責任ある送迎体制を整えていただきたいと考えています。　熊本県などでは、子どもたちの通学時間や生活に合わせて、スクールバスを1日に複数回運行している事例もあると聞きます。統廃合を進めるにあたっても、子どもや保護者の負担をできる限り軽減し、安全に通学できる環境を整えている点は、とても素晴らしい取り組みだと思います。　佐伯市においても、学校の統廃合を進めるのであれば、単に学校を再編するだけでなく、子どもたちの安全と保護者の負担を十分に考慮した対応が必要です。コミュニティバスなどの既存の交通手段に頼るのではなく、子どもたちの通学に特化したスクールバスを運行するなど、安心して通学できる体制を責任を持って整えていただきたいです。
33	今回の小学校統合案について、私は計画の進め方そのものに疑問を感じています。　保護者への意見聴取は行われている一方で、統合によって最も直接的な影響を受ける子どもたち本人の意見は、十分に聞かれていません。　学校統合は、単に学校の数を減らすという問題ではなく、子どもたちの学習環境、友人関係、通学環境、そして日々の生活に大きく関わる問題です。　だからこそ、計画を進める初期段階から、子どもたちが自分の思いや不安、希望を伝えられる機会を設けるべきではないでしょうか。　子どもたちのための学校統合であるならば、子どもたち自身の声を聞くことから始めるべきです。　当事者である子どもたちの意見を十分に把握しないまま計画を進めることは、合意形成のあり方として再検討する必要があると考えます。

34	自分的には統合には反対です。少子化で学校の存続が難しいのは理解できるが、通学方法の問題や、そんなに一気に複数の学校の統廃合に疑問を感じる。親としては新しい環境に馴染めるか？不登校にならないか？今まで比較的平和だったクラスにいじめ等が発生しないかなどと正直不安な気持ちの方が大きいです。統合したら後戻り出来ません。本当に必要かどうか、当の生徒と親の聞き取りをしっかり行って欲しいです。また、学校が避難所等に指定されている所もあると思います。災害が多い日本の避難所の維持も合わせて検討お願いします。
35	今回の再編案できたら反対です。　　アンケートがあった時にはここまでの大規模再編とは思ってもみませんでした。　　中学の場合に通学にも5キロ以上歩くと恐らく1時間はかかりそうです。通学バスもあるか未定だと通学に不安で仕方ありません。それは安全面でもです。駅前の狭くて交通量の多いトンネルを通わせるのは親として心配で仕方ありません。　皆が車や自転車で通学できるとは限りません。　事故が起きてからでは遅いです。　　少人数の学校には良い点がたくさんあります。　それをわざわざ大人数で学ばせる必要性も感じません。　さらに中学3年生への配慮もない再編案。　受験でナーバスになる年に学校が変わる事への子供の負担を考えてあげてほしいです。　3年生だけでも卒業させてあげてほしいです。　もう少し子供の目線で考えて頂けたらと思います。
36	資料に「佐伯市立小・中学校の再編に関するアンケート調査の集計結果」がありました。 私も回答しましたが、児童数、生徒数が減っているという記述の後で、「賛成・やむを得ない」、「反対、わからない」という選択肢だったので、やむを得ないを選びましたが、それが再編肯定に集計されるのは納得できません。私は再編反対です。 アンケートが作為的です。その結果を市民との話し合いに使用するのは、倫理的に問題があるのではないでしょうか？この再編案を出した後に、再度、公平で選択肢のアンケートをとってほしいです。　・この再編で、1番影響を受け、人生を左右されるのは子どもたちです。なのに、子どもたちの意見を聞く予定がスケジュール案にないのは何故ですか。子どもたちにわかるように説明した上で、意見を聞く機会を作っていただきたいです。自分たちのわからないところで決められた再編に従うことになれば、子どもは大人への信頼をなくすと思います。自分たちの意見を聞いてもらえたという安心を与えてほしいです。すでに報道が先行して、子どもたちは強い不安を感じています。 ・メリットにこどもにかかる費用の保護者負担が小さくなるとありますが、逆に増える家庭もあります。修学旅行費が安くなるより、小中学校が遠くなると送迎の負担、仕事の調整、上の子に使ったジャージなどの学用品のお下がりが使用できないことがあります。 ・八幡校区から鶴谷中への自転車通学は、狭いトンネルを通り大変危険です。交通事故は起こってしまうと取り返しがつきません。どこでも事故が起きる可能性はありますが、危険とわかっているのに子どもを通らせたくありません。回り道が通学路となれば、6キロ以上になります。テストや受験に影響すると思います。 ・マイクロバスは部活等の下校にも対応されるかわかりません。そうすると自分の仕事をパートタイムにして送迎するしかありません。
37	最初にアンケートを実施した時点では、小中学校の統廃合がこれほど早い時期に進められるとは想定していませんでした。そのため、実際の統廃合の時期を明確に示した上でアンケートを実施すれば、回答結果も変わってくるのではないかと思います。 また、アンケート結果において、「統廃合もやむを得ない」という回答が、再編に否定的な意見として扱われている事にも疑問を感じます。統廃合を積極的に望んでいるわけではなく、状況によっては仕方がないと考えている人もいるのではないでしょうか。 学校再編に対する住民の意向を正確に把握するためにも、統廃合の時期や具体的な内容を明確に示し、「賛成・反対・やむを得ないと考える」と区別できる、より分かりやすく明確なアンケートを実施していただきたいです。 学校の統廃合については、一度に広範囲の学校をまとめるのではなく、段階的に進めていくべきだと思います。今回の再編案は対象となる学校の範囲が広く、一気にまとめすぎているように感じます。まずは、通学距離や地域のつながりなどを考慮し、近隣の小学校同士や中学校同士での統廃合を基本として検討していく事が望ましいと思います。教育環境の変化や子供達への影響、通学面の課題など十分に検証し、必要に応じて次の段階へ進めていくべきではないでしょうか。
38	今日の皆さんの意見の中から大ナタをふりすぎているという話がでました。また、八幡小学校と東雲小学校の統合くらいの統合から始めて最終的には今回案のような大統合になると思います。段階を経て統合していったほうが良いと思います。
39	本日は説明会ありがとうございました。少しちがう質問なのでしなかったんですが。西上浦と八幡が合併する前は(佐伯市で決まってるですね)3キロあるとバス通学で通学出来ていたんですがトンネルができると3キロなくなって徒歩で歩道のある所ならいいですが　曲がりカーブの大人でも危ない所を行かないといけない(実際見て下さい)と言われて困ってる方がいます。私も毎日通る道てすが自分の子ども、孫なら絶対歩かせたくない所です◦合併した時の条件が変わっても合併した時にして頂いた時の条件にしてもらいたいと思いました。規定で決まってても変える事が出来ると思います。この件に関して返答お願いしますm(__)m
40	再編すると地域から学校が無くなりさみしくなります！
41	再編後の使わなくなった校舎・体育館を地域の方や子どもの活動に使える貸施設にしてほしいです。
42	登校距離が延長する事への対策はありますか。スクールバスの運行等、また放課後の学童施設の充実はどうなのか、兄弟児もおり、多感な年齢での転入になりそうなのでそれらの点を心配しています。
43	子どもに大きな環境の変化がないようにしたいので、統廃合実施前でも、統合先の小学校を選択して入学できるようにしてほしい。
44	統合前でも統合を見越して、統合後の学校に通いたい、または通わせたいニーズがあると思うので、それができるような制度設計としてほしい。そうすると現実的に統合時期が早まる可能性があるとはおもうので、柔軟に対応できたらと思います。
45	一斉に統合することでの、メリットデメリットを理解できたように思えます。意見交換会後の教育委員会の方と直接話してメリットをより良く知ることができました。そこでおもったのは、全員の前で発言をするよりも次回はグループにしての意見交換にした方がより親密に、沢山の意見交換ができるのではないかと思いました。また子供達が地域との関わる大切さも意見で、あがっていましたが正直私の子供は関り合いを避けることが多く、地域の方と関わってほしい気持ちと裏腹な子供です。私の気持ちを優先するより、まずはこれからの子供達のために何がいいのか子供の気持ちを汲み取り関われるように、子供と考えていきたい。それが交換会に参加した率直な気持ちです。
46	下小と上小が一緒になるのはもう少し時間をかけたほうがよいのでは。鶴見・米水津・木立でよいのでは？
47	子どもの数が減っていくので、統合はやむを得ないと思う。 小学校はある意味、その地域の拠点施設で、よりどころであるので、 閉校した学校を地域のために有効活用してもらいたい。 地域の人からアイデアをつのったりして、廃屋のまま放置するのだけはやめてほしい。
48	1.居住地域に学校があることにより、運動会を始め各種行事でつながりがあり地域の活力になっています。これがなくなることは残念ですが、佐伯市が目指す子供像を達成するためには、少子高齢化、市の人口減少等を考慮すれば、再編はやむを得ないと考えます。2.気になることは、大震災等により交通路が遮断されたとき、既に学校に登校している松浦、米水津、東雲、八幡等海岸部の子供達をどのように保護しておくのか、南海トラフ地震による大津波を考えると長期にわたる対応が必要になると考えます。
49	※白紙提出
50	お世話になります。私の子供が統合の時期に被ります。木立小学校校区に住んでますが、スクールバスは出る予定でしょうか？

51	今夜の意見交換会を終えて、意見があります。1つ目は複式学校のあり方です。先生の普段の学級を持つよりも負担が多いということは誰も疑わないと思います。そのことを知っているのに、なんで一つの授業で一人の先生が２つの学年を同時に教えないといけないですか？参観日によく見られる光景です。先生方が頑張っていると思いますが、まだ何かの助けが必要と感じます。大変だからもういいや、複式学級をやめて、学校を合併してクラスの人数を増やそうとかは軽率な行動に感じます。複式学級のいいことをもっと活かせる補助を先生方に与えて欲しい。2つ目はいずれ閉校になった時の校舎についてです。（けして閉校して欲しいということではないです。）学校がなくなると地域に住む魅力が減ります。だって、子供の居場所がありません。子育てにはあまりにも不便な状況です。木立に公園もないのに、学校がなくなれば皆どこで遊べばいい？田んぼと管理されてない川しかない。子供たちが安全に過ごせる環境と思えません。市内にはさくらホールとか、ワンパークなどありますが、こんな距離だと小学生だけであんな大きくて、車が猛スピードで飛ばしてる道路で安全に行けない。週末なら、親の仕事の都合さえあえば、なんとか対応ができるかもしれませんが、厳しいのが現実だと思います。せめて学校がなくなるのであれば何か子供たちのための施設にして欲しい。公園で遊べたり、室内で過ごせたり、宿題でもできたり、他の地域の子どもや方と交流できたりするスペースに。居場所がなくなることは悲しすぎる。三つ目は平日での放課後の過ごし方についてです。現在、放課後クラブを利用しています。正直、利用しないと仕事ができない状況です。こっちに頼れる親戚がいないので、助けも呼べません。大きい学校になると、放課後クラブちゃんと利用できますか？何年生までという制限が出てきますか？そして利用出来ない時はどうやって家まで帰りますか？中学生と同じ自転車であの距離を自力で帰れということじゃないでしょうね。夕方のバスに乗って家で寂しくて一人で留守になる？同じ学校の仲間と放課後交流出来ないことになるのではないか？それで社交的に自然と仲間外れにされてしまうんじゃない？大きい学校だとたくさんの色々な人と触れ合い、いい友達をたくさん作れるチャンスと思いますが！家がどこにあるかということで触れ合えなくなりそうです。バスや親の送迎などを待たないといけないから、友達とちょっとそこの公園で遊ぼう！なんてできません。友達の輪には入れません。それか迎えを学校になる？何時まで学校にうろついていいですか？保護者が仕事から休みを毎日取って迎えに行くことになりますか？親のことを思って迷惑をかけたくないが、居場所がないから、変なところにうろつくことになるか心配です。ちゃんと居場所が必要です。四つ目は単純に自分と子供たちと学校が変わることについて話してみて、一番最初に出てきた言葉は「いやだな」。色々な理由があったが、中心にあった気持ちは大きい学校だと不安。そんなたくさんの人がいるクラスだと友達作れるのも不安。困ったときに先生がたくさんの生徒を見なきゃいけないので、言いにくい。今は他の学年の子ともたくさん遊べるのに、クラスの人が増えたらもう私たちとなんて遊べないかな。兄ちゃん、姉ちゃんたちと遊ばなくなるのはさみしい。ということで、不安なことしか想像できなかったのが実際しないといけない本人たちからの意見です。
52	木立小学校は、令和14年度の児童数は28人でまだ学校行事は出来る範囲ですし、築30年になっていません。スクールバスで通学することになると父兄の送迎も負担がかかりますから、児童数が20人に満たなくなったら統合を考えるようになると良いと思います。他の地区の小中学校も総児童、生徒数が20人に満たなくなると統合を検討するようになると良いと思いました。
53	スウェーデンの小学校のように佐伯市の小学校も複数学級にすることを検討してください。20人学級をひとりの教師で指導するのはとても大変ですから。
54	佐伯市がめざすまちづくりと学校再編の方針はあっているのでしょうか？私は学力だけでなく、佐伯のよさを知り、佐伯を好きになってもらう子どもを育てることも大事だと思います。地元に残り､地元の産業を受け継いでくれる子どもを育ててほしいです。今回の再編案は、その視点が欠けているように思います。私なら、木立、米水津、鶴見を木立に集めます。互いの地区の産業を知ることができるいい距離だと思います。それぞれの地区で工夫をしながら農業や漁業などに取り組む姿を見せたいです。市と教育のめざす子ども像をすり合わせてから案を出してほしいです。能率化重視のように思えます。
55	統廃合案は再考してください。このたびの、学校教育問題検討会が作成した、佐伯市立小学校・中学校の統廃合案は、詭激的（３０学校を１５学校に一挙に減らすのですから）です。また、画一的（個々の学校の実態に即して、統廃合を検討しないわけだから）です。それで私は思います。このたびの統廃合案は再考してください。
56	通学面の手厚いサポートを強く希望します。　東雲に関しては、佐伯東に合併される方が 立地的にも施設的にも良い気がします。 グラウンド・校舎等々・・・。　佐伯小が立地・施設などにおいても、一番良いと判断 されるのであれば何も言うことはありません。 個人的な見立てでは、佐伯小の良い部分は駐車場が 広いところ以外は見当たりません。　東雲・八幡から佐伯東への方が近いので、 合併するのであれば少しでも通学距離が短い方がありがたいです。　合併された場合は、小・中学校の校舎の有意義な 活用をお願いします。地区コミュニティセンターとして等々。 グラウンドも広く、豊後二見ヶ浦もすぐ近くにあるので、 観光施設としても活用できるのではと思います。　とにかく色々と検討し、実現していただきたいです。
57	先日の学校再編に関する説明会に参加しましたが、正直なところ、参加する前と比べて具体的に得られた情報がほとんどなく、むしろ不安が大きくなったと感じています。　少子化が進み、児童生徒数が減少していること、今後すべての学校を現在の形のまま維持することが難しくなる可能性があることは理解しています。　しかし、今回の説明を聞いていると、「人数が少なくなるから学校を再編する」という考え方が先に立ち、少し単純に考えすぎているのではないかと感じました。　小規模な学校や地域に密着した学校には、人数だけでは測ることのできない良さがあります。　地域の大人に見守られながら育つこと、地域の中に自分の居場所があることは、子どもの心の安定にもつながると思います。また、自分が育った地域を好きになることは、将来「このまちに住みたい」「一度外に出ても、また佐伯に帰ってきたい」と思う気持ちにもつながるのではないでしょうか。　学校の再編を考える前に、まず「佐伯市は、子どもたちにどのような環境で育ってほしいのか」「どのような子どもに育ってほしいのか」という教育の方向性を、もっと明確に示していただきたいと思います。　また、学校規模が大きくなることが、必ずしもすべての子どもにとって良い環境になるとは限りません。不登校をはじめ、人数の多い学校だからこその難しさについて耳にすることもあります。人数や効率だけではなく、子ども一人ひとりの心の安定や居場所という視点からも十分に検討してほしいです。　さらに、学校を統合した場合の通学についても不安があります。スクールバス等を利用することになったとして、例えば子どもが遅刻して決められた便に乗れなかった場合はどうするのか、保護者が送迎できない家庭はどうするのかなど、実際の生活を考えれば具体的に検討すべき課題がたくさんあるはずです。しかし、説明会ではそのような部分について十分な説明や対策が示されていなかったように感じました。　「これは決定事項ではなく、皆さんの意見を聞くための会です」と説明されましたが、具体的な情報や選択肢、課題への対応策が十分に示されない状態では、住民も何を基準に意見を出せばよいのか分かりません。結果として、説明会によって地域や保護者の不安をさらに大きくしてしまったのではないでしょうか。　そして何より気になるのは、当事者である子どもたちへの影響です。　今回の学校再編についての報道を見聞きした直後から、不安を感じたり、心が反応したりしている子どもがすでにいると聞いています。そのような子どもたちに対する心のケアや説明は、すでに行われているのでしょうか。　大人にとっては「まだ決まっていない話」であっても、子どもにとって自分の学校がなくなるかもしれないという話は、とても大きな出来事です。表面上は普段どおりに見えても、見えないところで傷ついたり、不安を抱えたりしている子どもがいるかもしれません。　学校は、単なる建物ではありません。子どもたちが毎日を過ごし、人と関わり、地域とのつながりをつくりながら成長する場所です。　だからこそ、学校再編については人数や財政、効率だけで判断するのではなく、まず子どもたちの心と育ちを中心に置き、「佐伯市の子どもたちをどのように育てたいのか」「これからどのような地域を残していきたいのか」という視点から、地域住民や保護者、そして子どもたちの声を丁寧に聞きながら、慎重に進めていただきたいと思います。
58	統合は仕方のないこと、進めていかなければいけないことだと思います。子どもたちにとってよりよい方法を望みます（その後の建物の有効活用なども）。その他ですが、子どもが少ないのに、中心部にこども園が増えるのは納得いきません。
59	・現役世代の現況を維持したいと言う気持ちはわかるが、中学・高校と各段階で小規模から中規模・大規模と環境が変化して来た時に順応出来るか、早晩環境の変化を考えると前向きな議論が必要ではないか、子供達の生きる力を育む事を考えるべきで、現状を守る事に執着し、思考停止している様にも思える ・地域にとっても、地域から子供がいなくなると言う人もいるが、ただ単に地域が広くなったと考えるべきではないか ・再編によるメリットを問う意見があったが、違った角度から見るとメリット・デメリットは相反するので、あまり意味がない ・再編後は地域活動を上浦や海崎でも行い、地域との交流の場を持つべきだと思う ・上浦も小規模特認校にすれば学校は残ると言って来た人もいるが主旨が違うので議論はしないと断りました。立場のある人が再編に揺れる地域に持ち込まない様に正しく認識してほしい。
60	再編後、子ども達の利便性や学業等の質の向上を真剣に考えてください。

61	通学の移動のバスなどを無料にしてほしいです。
62	弥生地域の人口は、ここ数年ほぼ変わりがない状況です。明治小学校の児童数は佐伯市内でも３番目に多いとききました。今後も弥生地域に転居される方も増えてくると予想されます。そのような状況下で３校を１校にするよりも、２校にして増え方などを様子をみた方がいいのではないでしょうか。明治は建物の老朽化等も考えられますが、児童の安全面（浸水、土砂災害）や通学面からも国道沿いにあり、よい立地・条件にあると思います。明治校区以外からの通学にはスクールバスまたはコミュニティバスが運行されると思いますが、現在利用されている公共交通路線（大分バス等）を利用できれば、新たなバスの乗降場を設置の必要がなく、乗降場から学校までの経路での安全面も確保されています。大雨、台風時は、弥生地域では明治、上野、切畑とそれぞれ、と被害状況が違います。一度に施設が大きなダメージを受けてしまうと復旧、復興も時間がかかると思います。上野地域には、中学校、振興局、コミュニティセンターと復興の際に拠点となる施設があり、今後、コミュニティセンター機能を備えた施設の建設の声もあるようですが、上野地域だけに施設を集めるのではなく、いち早い復旧、復興のためにも分散させる考え方もあってもよいのではないでしょうか。上野小学校の入り口がある山梨線の周辺一帯は台風の時は道路が浸かってしまうのも心配です。集中豪雨でもそうなるということですよね。佐伯市の未来を担うこどもたちの大切な場所です、再検討をお願いいたします。
63	1学年1クラス少人数（20～30人）で育った人間にとっては、その規模が普通で、良い経験だったという感覚があり、自身が子育てする際にも、子どもを小規模校に通わせたいと思うのではないか。騒がしい環境が合わない子や親にとって、児童数の多さ・関わる人間の多さが、不登校や転居の原因になる。そもそも、田舎という環境が、クラス替えのできない学校のようなものなのだから、学校統合のメリットに挙げられているクラス替えや経験云々は、社会性を養うという面で、逆効果ではないか。多様な環境で育ち、自分とは違う環境で育った人がいるということを学ぶことの方が、一律の教育を受けるよりも、社会性を身に着けることに繋がると思う。
64	少子化を解消するために、佐伯市が、若い女性にとって居心地の良い地域であることが重要だと思う。10代のうちから不調があれば婦人科を受診できる環境・里帰り出産ができる環境・男性に家事能力があることなど。もし、将来の佐伯市が、男性に家事能力がなく、婦人科・産科のない状態になってしまえば、女性の働き手がいなくなり、外国人労働者の女性も居つかなくなり、不健康な高齢男性ばかりの地域になってしまうのではないか。少子化問題だけでなく、医療費問題にも繋がってくる。子どもの食育の前に、中高年（義務教育で、男性が家庭科を受けていない年齢層）への食育が必要ではないか。
65	先日、学校再編に関する地区意見交換会に参加し、いくつか質問をさせていただきました。その中で感じたことも含め、意見を述べさせていただきます。　【保護者、とりわけ今後影響を受ける世代の意見について】今回の意見交換会に参加して最も気になったのは、保護者の参加がわずか2～3名程度だったことです。参加者の多くは自治会関係者や地域の役職を担う方々などで、実際に子どもを育てている世代の参加が非常に少ないと感じました。　今回の再編計画で特に大きな影響を受けるのは、現在の未就学児や小学校低学年の子どもたちではないでしょうか。　しかし、その保護者の多くは共働きであり、19時という時間帯は夕食や入浴、寝かしつけなど、家庭で最も忙しい時間でもあります。説明会を開催するだけでは、十分な参加が得られないのも無理はないと思います。　保護者アンケートについては、未就学児の保護者を含めて実施され、一定数の回答が得られていることは承知しています。しかし、全体の回答率は約44.4%と半数に達しておらず、未就学児の保護者に限った回答率も公表資料からは確認できませんでした。　また、回答した未就学児の保護者の多くが学校再編そのものを容認している一方で、それが今回示された具体的な再編時期や統合先への賛同を意味するわけではないと思います。アンケートや意見交換会を実施することと、当事者の意見を十分に把握できたことは、必ずしも同じではありません。今回の参加状況を見ても、今の方法だけで幅広い意見を拾い上げることができているのか疑問が残ります。　参加や回答が少ないことを単に関心の低さと捉えるのではなく、行政側からも積極的に働きかけ、特に今後大きな影響を受ける世代の意見を丁寧に聞き取る工夫が必要ではないでしょうか。　【子どもの教育環境と地域の将来について】意見交換会では、学校の存続を求める地域の方々の声もありました。　学校は子どもたちの教育の場であると同時に、地域を維持するうえでも重要な存在です。学校がなくなることで、子育て世帯の転入や定住が難しくなり、地域の衰退につながる可能性もあります。　地域の方々が学校の存続を望む背景には、子どもたちの教育環境だけでなく、地域の将来に対する切実な危機感もあるのだと思います。　一方で、地域を守るために学校を残すことが、必ずしも子どもたちにとって最善とは限りません。　だからこそ、子どもたちの教育環境と地域社会の維持という、それぞれの視点を大切にしながら、多面的に議論する必要があると考えます。　【再編の必要性と地域ごとの実情について】　私は、少子化が進む中で学校再編を検討すること自体は必要だと考えています。　むしろ、児童生徒数が著しく減少し、各学年が10人以下になるような状況になってから議論を始めるのでは、対応が遅れる可能性もあります。将来を見据え、今から計画的に進めることには賛成です。　しかし、児童生徒数の減少速度や学校の状況は、地域によって異なります。　例えば弥生地区のように、他の地区と人口減少の状況が異なる地域についてまで、同じ基準やスケジュールで再編する必要があるのでしょうか。　また、再編の目安とされている1学年20人という基準についても、一定の集団規模を確保する必要性は理解できますが、20人という数字を一律の判断基準とするのではなく、例えば15人程度まで幅を持たせることや、学校ごとの教育環境を踏まえた柔軟な判断も検討できないでしょうか。　すべての地域を一律に再編するのではなく、各地域の児童生徒数の将来推計や教育環境、通学条件、施設の状況などを踏まえ、それぞれに適した再編時期や方法を検討していただきたいと思います。　これは再編を先延ばしにしてほしいという意見ではありません。必要な地域では早期に進めることも含め、地域の実情に応じた合理的な判断を求めるものです。　【財政的な合理性と再編時期の根拠について】学校再編には、教育環境だけでなく財政面での検討も必要だと考えます。　統合によって学校の維持管理費が削減できる一方で、統合先の校舎やグラウンド、駐車場などの改修、スクールバスの運行など、新たな費用が発生する可能性もあります。また、施設の老朽化対策や改築計画との整合性も重要です。　学校を維持する場合と統合する場合について、短期的な費用だけでなく、将来的な維持管理費も含めて比較し、その結果を市民に分かりやすく示していただきたいと思います。　さらに、現在示されている再編時期についても、なぜその年度までに実施する必要があるのか、具体的な根拠を明らかにしていただきたいと考えます。　再編を急ぐことにも、遅らせることにも、それぞれ教育上の影響があるはずです。だからこそ、各地域でいつまでに、どのような対応が必要なのか、客観的な根拠に基づいて判断していただきたいと思います。　【最後に】今回の意見交換会では、さまざまな質問に対して、市側から今後も十分に議論することや、意見として受け止めるという回答をいただきました。　その姿勢は理解していますが、大切なのは、寄せられた意見がその後どのように検討され、計画に反映されるのかということだと思います。　学校再編は、単に学校の数を減らすという話ではなく、子どもたちの教育環境、保護者の生活、そして地域の将来に深く関わる問題です。　私は再編そのものに反対しているわけではありません。しかし、現在の計画を前提として意見を聞くだけではなく、必要に応じて判断基準や再編時期、方法そのものを見直せる議論であってほしいと思います。　特に、今後大きな影響を受ける未就学児や小学校低学年の保護者の声を、より積極的に把握していただきたいです。　子どもたちにとってより良い教育環境を実現するために、地域ごとの実情を踏まえた柔軟な計画と、その判断に至る根拠を丁寧に示していただくことを希望します。
66	弥生地域内の小学校は、いきなり3校→1校でなく、2校でもよいのではないか。統合先を上野小学校にした基準とは。弥生地域は津波の心配はないが、大雨・台風時等の内水の被害が特に心配されています。防災・安全面からすると明治小学校の方が浸水想定など上野小学校の半分程度でリスクが少ないのではないか。ハザードマップからみる浸水想定の深さでも、上野小学校周辺は4メートルを越えているほか、急傾斜の警戒区域に挟まれてる。年齢層が広い小学生が避難するには、中学生よりもより、時間を要し、教員の誘導も大変ではないか。現に上野小学校の入り口周辺は、大雨の際にはかなりの確率で小学校へのアクセス道路が浸水して使えなくなるなどしている。明治小学校は、国道沿いに位置しているため、避難路、緊急車両のアクセスも確保されていると思う。数年後の弥生地域の各小学校の児童数があったが、対象児童の保護者などにどこに通学したいか、アンケートをとってもよいと思う。実際に明治小学校の児童数は、居住地からの数ではなく、希望して通学している児童も多いのではないか。
67	再編したら人数が増えます。そしたら教室の数はどうするのですか？また新校舎をたてるのですか？
68	統廃合は少子化のため仕方ないと思っています。もしこの案で統廃合された場合、放課後児童クラブはどうなりますか。共働き家庭が増加して他の学校は知りませんが上野小の小1は19人中18人が児童クラブを利用していて、児童クラブは保護者から見て満員で、これ以上増えると子供の座り場もないように思います。また児童クラブの受け入れが難しくなると生活できない家庭も少なくありません。増築する場所も見た目ではなさそうで移転しても、さらに少子化が進んだ時、赤字が予想されますし、市の都合で統廃合をしているのに民間の児童クラブに負担が大きいと思います。統廃合の結果地域から学校がなくなるのが嫌という地域の方がいらっしゃいますが、子どもにはある程度人数がいるところで社会性を身につけながら学んでほしいと思うので、過疎地域のことばかり考えるのではなく子供優先で考えてほしいです。

69	再編については賛成です。この再編は、文部科学省等の国の方針として、全国的に行われていくもの（予定）なのか、の説明もあるとより納得がいくかと思います。また、再編したあとのイメージがわくような説明が欲しいです。親は、子どもの生活も含めて考えるので、登校前、下校後の生活がどのように変わるのかも気になります。登校方法や児童クラブの再編、地域と一緒にしてきた行事ごとやPTA活動など。中学生において、例えば、米水津に住んでいて、米水津の剣道を習っている。しかし再編後は、中学校は佐伯南中学校となると、南中学校から米納津までの移動時間や、保護者がどこの範囲まで迎えに行かないといけないのか。教育委員会だけで解決できる範疇でないことは承知してますが、その部分までの協議検討や想定も含めた説明が必要かと思います。また市政はこどもがまんなかですよね、地域からこどもがいなくなることと冨高市長が目指しているところが一致しているか、いまいちイメージがわきにくいです。とくに地域の文化的な行事に参加している子どもたち（宇目や八幡など）は、学校が統合されることによって、地域の文化的行事に参加する子供が減少していくのでは？とも思います。八幡であれば、それを鶴谷中みんなでするっていう話にはならないですよね？よく小中学校では、地域とつながり、地域に開かれた、地域と共にということを掲げて学校方針を書かれていると思いますが、その部分についてはどのように行うのか、気になります。再編したあとも、今と同じような現状を維持するのは難しいと思いますし。変化していく時期だと思いますが、もう少しビジョンを示していただきたい。各会場の参加者数がどの程度かわかりませんが、市の公式LINEや公式ホームページ等は確認することができますので、今後の動向を注視しておきます。大変かと思いますが、より良い佐伯市で良い教育が受けられるよう、頑張ってください。
70	意見交換に参加して思ったことは、大きく変ろうとするとき、特に今回のように急な知らせとなりまだ保護者や住民に動揺があるときは反対意見や保守的な意見が目立ち聞いているとそちらに気持ちが持っていかれそうになるのですが、保護者として子どもが少なくなった地域で学校が統廃合していくのは当然のことだと思いますし、子ども達がそれによって効率よく十分な教育が受けられるのが一番望んでいることですので、有識者の方々や今回頂いている意見をよく検討して頂いてスムーズに進んでいっていただくことをお願いします。教育委員会の方々が向き合おうとされてる姿勢を感じて少し安心しました。
71	学校跡地の再利用についても考えてほしいです。
72	上野小学校へのバス通学が増えるが、学校での朝の子どもの送迎について、バスを何本かに分けて行う必要があると推測するが、そのためのバスの待機所やロータリーなどの整備は行わなくて良いのか。 また、雨の日などは保護者の子どもの送迎の車が必然と増えると思うが、それをどう捌くかの導線と駐車場を考えた施設整備を考えているのか。 災害時の対応なども考えれば、それら（バスロータリーや保護者駐車場）の整備は必須だと思う。なので、それらが整備されないままでの子どもの受け入れは危険ではないのか。 合併までの期間の短さから考えてそれらはなんとなくどうにかなると考えてはいないのだろうかと不安に思う。 工事を受ける業者も減っており、その様な受け入れに伴う工事の期間が集中すれば、地元の調整、設計、工事の執行が事実上できないのではないのか。そうなれば、危険を抱えたままで受け入れをする学校や所在地域にいらぬ負担を強いてしまわないかと危惧する。　学校の校区の拡大に伴い、地域性が薄れる事を危惧する。実際に地域の校区をいじられて、地域から通う子どもがバラけたことで地域性が阻害されて地域の結束力が削がれたのを感じている。これらについての地域への手当ては考えているだろうか。
73	①多様な意見を出し合い解を求めていく探求心学びには一定の集団が必要という意見には賛成です。しかし、少子化の流れは統合後も継続するかと考えると、集団が小さくなってくる。この動きをとめるという発想だけでなく、インターネット等を利用した遠隔授業を学校間で実施できないだろうか。小集団と小集団がリモートで結ばれ、一定規模の集団的学びが可能にならないだろうか。多様な意見の出し合いを望むならば。②専門的教員を含め、一定数の教員を確保するには、一定の学校学級規模が必要というのも理解できます。
74	※白紙提出
75	成人式の場などでの意見（良い方向のみ）
76	再編は子どもにとって仕方ないと思うが、「地域の学校」は今後どうなるのか？姿や形が見れない。地域も学校に協力しなくなる。必要がなくなる。
77	学校編成を今後考える上で、人数の調整だけでなく、登校するための手段や下校後の児童クラブや部活後の事も考えた上での実施にして欲しい。あとから、あとからゴタゴタ問題が起きないように、先に問題をクリアにしてから実施という形にしてください。
78	よく考えてほしいです。
79	・特認校制度は学校存続を自動的に保証する制度ではないと思いますが、存続の判断は何をもってするのか。・通学支援や放課後の居場所づくりは保護者の最も心配するところではないかと思うが、児童・生徒の募集の段階から明確にしてほしい。　・本制度の情報発信は市内外を問わず、広く広報、宣伝してほしい。　・小規模校の魅力を高めるためにも、教職員、教育環境の充実を望む、スクールカウンセラー等、また地域のための専門職員の配置・空き家、住宅、仕事、子育て支援等一体的に案内する仕組みづくり、移住・定住対策の促進に結び付ける。　・コミュニティの希薄化が叫ばれている中、集団活動を通して社会性、協調性を育てることは重要ではないか。小規模校の再編により多くの友達と関わり、ルールやマナーなど守ることは習得し、みんなで協力して、やり遂げる達成感や充実感を味合うことができる。そして情緒豊かな明るい人間に成長していくのではないか。よって一定の集団規模での学びが望ましいと思う。
80	※無回答
81	中学生で少し距離がたらないだけでスクールバスに乗れないんですがもう、何年前から話し合ってるんでしょうか？統合の危機感も感じています。今後の拠点はどうなるのか考えている事を聞かせて頂きたい。
82	※無回答
83	地区が広くなることで子供の対人関係が心配になります。でも友達が増えることで身に付く社会性もあると思うので再編してみないことにはわからないです。早退や遅刻などの時に送迎が難しくなる方が出てくるのではないでしょうか？新たな送迎ルールができると助かると思います。
84	再編は仕方のない事だと思う。
85	※無回答
86	１０/５（月）の説明会に参加させていただきました。小中学校が残ったことでの安心感と今後5年10年先の取り残された感も感じたところです。意見交換会でも出ましたが小規模校ならではの授業内容の充実をお願いしたいと思います。また、宇目緑豊に限ったことではありませんが合併から20年も経っていますので校区の見直しなどを行うことで生徒数の均衡が図れるようお願いします。
87	激減する生徒数はもちろんのこと、学校側の体制維持も困難な状況と地域のインフラがバランスよく整わないと統合案を活かすことも難しいと思います。送迎バスの運転手の確保など市内から離れるほど人材の確保も難しいため。整理をする上でどこかに委託できる事業所などと現状を把握しながら進めて行けたらと考えます。
88	良いと思う

89	直川から学校がなくなるとちょっと悲しい…
90	直川から子どもが減ってしまう。なくなるのは悲しい。
91	昨日の話し合いの中で様々な意見がありました。教育委員会の方の意見も充分分かっているつもりではありますが、強行して再編を進めていきそうな雰囲気に残念でなりません。個人的な話になりますが、私が住んでいた地域では、通っていた保育園から高校までの全てが統合し、現在、私の母校は1つも残っていません。これは少子化の影響等、やむを得ない事だと思ってはいますが、母校が1つもない私の気持ちはやはり複雑です。事の問題は大きく国にあるとは思います。ただ、まだ佐伯市の教育はまだ変われるのではないのかな？と期待してます。一度に沢山の学校を統合し、教師不足を補いたい面も分かります。しかし、まずは少しずつ学校を減らして行く方が良いのでは？直川小学校、中学校はまだ校舎も新しいです。利用価値はあるはずです。蒲江のように小中一貫校にするとか策はあるのではないでしょうか？それと宇目や蒲江は通学に時間がかかりすぎるから今回は統合の話はないとおっしゃっていましたが、今後子供が減って行った時の対応まで考えていないのですか？これじゃまるでトカゲの尻尾切りのようにしか思えませんでした。直川もとても広い地域です。弥生に近い地域に住んでいる子供たちへの影響は少ないかもしれませんが宇目に近い地域に住んでいる子供たちの通学への負担もかなりのものだと思います。現在、子どもはスクールバスで登校していますが、これから学校への登校に更に時間がかかるとなると、今よりも早く起床し、準備をしなければならなくなります。子供たちの睡眠時間も更に削られる事にもなります。昨日の話の中にもありましたが、郡部の人間の意見をもっと注視していただきたいです。地域の方との交流もしっかり行って行くとおっしゃっていましたが、学校がなくなるとなると益々、過疎化は加速し、直川という地域自体がなくなっていくのは目に見えています。佐伯市総合計画でどうすれば地域が豊かになるか、豊かにする為に課題に取り組んでいる我々にとって市は何も考えていないのだなと思ってしまう今回の統合の話だと感じました。こういった意見を踏まえて今一度検討していただきたいです。
92	長文失礼いたします。いち保護者として参加しましたが、あの場では立場的にも、思っていたことも上手く伝えれずしどろもどろになりましたが、昨晩不完全燃焼・寝れなかったので文章にして提出いたします。　昨日のは本当に意見交換会だったのでしょうか？会の中でも度々出ていましたが、ただの統合する前の説明会の様にしか感じませんでした。　本来意見交換会という名で開催するのであれば、第一段階として、統合案は出さずに各地域の方の意見を吸い上げるべきなのではないでしょうか？　意見を聞いた上で各地域の子ども達に合った教育方針・環境を検討し（案）を作成して、また話し合う。この流れが筋だと思っています。　昨日の皆様の態度を見ていますと、国のデータがとか、こうする方が子どものためだとか、事務をこなしているようにしか見えませんでした。　中には「早く時間が過ぎてくれないかな？」「終われば説明しましたと言えるのに」って思っていた職員もいたのではないでしょうか？端から見ていて顔色や態度で感じました。僕は保護者なので、直川の子ども達の未来を考えて今後も闘います。　話を持ち帰る・検討するっと言っていましたので、しっかりとした保護者・子ども達が納得するような説明をしてくださいね。楽しみにしています。「統合しない」宜しくです。　僕が尊敬している方からの言葉をお伝えします。「俺ら市の職員は市民の税金から給料をもらっている。だから何をするのも市民目線で考えないといけないよ」っと言われその言葉を心に込めて勤務しています。　今回の政策が本当に市民目線で考えられているのか、今後の改正案を楽しみにしてますね。子ども達も市民なので、、「子どもがまんなか」なんですよね。
93	こども園はどうなりますか？小学校がなくなるということはその地域で幼児教育を受けるメリットがないと思います。それなら小学校にそのまま進めるようなこども園を選ぶしかないです。自宅から遠くなっても。どんどん地域から子どもが減っていきます。その対策はしないのですか？こどもがまんなかなのは教育委員会も同じではないのでしょうか？正直言って佐伯市で子育てするメリットがありません。去年出産しましたが、出産のお祝い品は木の椅子？みたいなもの。誰が望んでるんですか？市と一緒になって子どもについてもっと考えてください。統合など簡単なことで済ませないでください。
94	直川の子ども達に明るい未来を！！
95	編成にやむを得ないと回答しましたが、反対です。説明を聞いた内容では郡部の意見は全く取り入れられないように思います。直川での子育ては地域の方々の協力があって成立しています。その甲斐あって子ども達は地域に感謝して成長しています。その感謝の心が半減してしまうと思います。最終決定権はどこにあるのでしょうか？反対意見があっても、議案を押し通されそうで不安と不信感しかありません。再編後は過疎化が加速されるとは思いませんか？佐伯市内、吸収する方の保護者の意見は賛成派が多いことが明らかに予測できますよね。その賛成派の割合と反対する小規模の郡部の割合を同等に計算されてはいけないと思います。直川にしかない、小規模校での良さや地域との密接な関わりを奪わないで欲しいです。佐伯市長の意見も聞きたいです。子育て世代の他の地域の説明会参加は現実的ではありません。また、説明会での教育委員会の方々の話を聞いている態度にも他人事のようで苛立ちしかありませんでした。質問した内容とは違う、マニュアル通りの返答にも納得いきませんでした。再検討をお願いします。
96	今回のお話を聞けば聞くほど、統合に対するメリットが少なすぎると感じました。 直川小中学校は築３０年くらいだったと思いますが、上野や昭和はもっと古かったと思います。それに、今回の統合では施設の大規模な改修はしないともおっしゃってましたし、事務費等の節約にもならないとのことでしたが、なぜ環境の悪い方への統合なのでしょうか？ 直川は小中一貫校で、中学校の専門の先生が小学生に教えてくれていますし、全員で委員会もこなして他校の生徒よりも自立してきます。長年続いた通学合宿は親元を離れて、自分の身の回りのことを行いながら学校に行き、自分達が勉強出来ているのは親や地域の人のおかげだと感じることのできる素晴らしい取り組みだと思っています。自己肯定感も１００％だったと思います。こんな状況のところを活かすのではなく、人数が少ないという理由だけで消滅させるのは正直理解ができません。他校の児童や生徒はそんなに優れているのでしょうか？小規模校のことを否定するつもりもないし、メリットがあることも分かっているという割には、人がたくさんいる学校で学ぶことの大切さのみをゴリ押ししているように感じました。 しかし、その割には小中学校の統合のみにとらわれ、その他の未就学児に対するこども園や児童クラブに関することは、ほぼノープランと言った感じでしたし、直川なら南海トラフの際も耐震や津波の心配は要りませんでしたが、弥生は本当に安全なのでしょうか？本当にこども達や親に対して良い環境になるのでしょうか？ 宇目は現状維持ですが、今後、宇目の子どもがさらに減り、今度こそ本当に統合しないといけなくなった時に、直川と統合する方が１時間以内に通学できると思いますが、そういった件については先送りで良いのでしょうか？ 沢山の子ども達と勉強させたいのであれば、逆に宇目や弥生の子を直川に通わせる仕組みを作ったり、保護者の金銭的負担を減らすのであれば、差額を補助金等でフラットにすれば良いだけではありませんか？ 地域から学校が無くなると、若い世代がその地域に住むメリットを失い、若者が居なくなったその地域はあっという間に崩壊していくと思われます。 崩壊した地域の農地、山林、空き家、空き店舗は市が保証してくれるわけでもありませんよね？ 子どもが予想以上に減っているというお話もありましたが、それは若い世代の学ぶ場所や遊ぶ場所や働く場所を作らず、大分市や福岡へ流出させてしまったからではないでしょうか？ 佐伯市は盆休みやお正月休みには里帰りの人が沢山集まります。これが本来の佐伯市の賑わいになるはずだったのではないでしょうか？ 佐伯市は本当に子どもを増やす為の仕事をしていますか？医療費は高校生までタダなのはありがたいですが、その後、佐伯市の税金で育った子どもたちのほとんどは当たり前の様に他市へ出て行ってしまいます。本当に子どものことを考えるなら、高校卒業後も学ぶ場所や働く場所や遊ぶ場所を整備し、その地域でまた子どもを産み育てるといった、持続可能なまちづくりをしなければならないのではありませんか？ まだまだ、市に出来ること、しなければならないことは沢山あると思います。 今回の説明会もそうです。 まずは、ＰＴＡ等への下話→意見交換会→現状のまま存続させるための案と再編をした場合の案の作成→案の説明と意見交換会→意見交換をした後に決定→決定に従った運用を考え実行する。が本当ではありませんか？ 説明会の招集も遅すぎました。介護や看護などでシフトが決まっている方には、その月に説明会をするといわれても参加出来ないのです。アンケートの取り方や問いについてもあまりに雑なもので、その結果をそのまま受け入れることはできないのではないかと思いました。 また、直川では運動会は小中合同で行っています。先に中学校が統合されると小学生はどうなるのでしょうか？ そういった事情も理解した上で、今回の再編案を出されたのであれば、理解不能ですし、知らないのであれば勉強不足であると言わざるを得ません。 通学方法や通学時間についても、どの様に考え、どのように設計しているのでしょうか？統合されたら横川や仁田原に住む方はいったい何時に家を出なければならないのでしょうか？それが本当に子どもや親のためになっているのでしょうか？ そもそも、この統合案は誰が言い出したのでしょうか？これが市長からであったり、市長が任命した管理職の方からであれば本当に市長には失望させられました。 市長の「子どもがまんなか」ってなんなのでしょうか？少なくても「市の真ん中に集める」ではないと思います。 子どもを1番に考え、常識や書面上の基準にとらわれず、子ども達にとって1番良い環境で教育を受けさせることではないのですか？ そして今回は再編成が財政によるものというお話ではなかったので良いですが、もしもそうであるのならまずは市の人件費から見直すべきであると思います。最後になりますが、郡部の人が居ないところで、郡部のことを決めないで欲しいです。
97	大分合同新聞に掲載された記事のことを聞いたのですが、その後訂正されることもなく、新聞にも何もありませんが、あの記事は佐伯市の意思であると受け取って良いのですか？それであれば説明会自体が後付けのパフォーマンスに過ぎません。

98	宇目についてはデータでは今後、今の少人数の学校より、さらに児童生徒数が減少する予想になっていますが、通学の時間や距離から今回は存続という形を取っています。 しかし、本当にこれからのことを考えるのであれば弥生に統合するのでなく、直川に宇目、本匠、直川を統合すれば宇目が取り残されることもなく、これからも続いていけるのではないかと思いました。 また、少人数の学校は小学校と中学校の合同運動会をしていますが、中学校が先に統合されてしまうと小学生が取り残されてしまうので、その辺りのケアをしっかりして欲しいです。 本匠の学校は存続するということですが、宇目や直川や弥生の児童が弥生の学校に行くのが負担になり、本匠の学校に行くのは可能ですか？ これは可能にして欲しいです。 最終的にこの意見交換会で出た意見を集約し、委員会？協議会？にかけるとのことですが、委員の方に郡部の方はどれくらいいらっしゃるのでしょうか？ただ意見を聞いたという形だけの意見交換会にならない様に、また郡部の意見が反映される様に郡部の方が相当数入った会議での検討を望みます。 また、きちんとした議事録を公開することを希望します。
99	・令和7年11月に実施した再編に関するアンケート調査結果の市民への周知が遅い。同結果から将来廃校となる保護者の反対の割合が比較的大きく、特に蒲江、宇目は他地域より大きいが今回の再編案を作成するにあたり考慮したのか。・アンケート結果から1学級の児童数について、11人から20人程度の割合が多いことを考えると切畑、本匠、直川、宇目の統合で良いのではないか、他校も同じ考え方をして再編を再検討して地域に学校を残す取り組みを行ってもらいたい。
100	小規模特認校を増やすことはできないものか？統合よりもっとやれることがあるのでは。
101	①市長の政治姿勢は「子どもがまん中」とのことであるが、どのような考え方で、小中学校の統廃合を決断したのか。　②直川小学校では、通学合宿や安全安心パトロール等の独自事業を行い、地域とのつながりを大切にしているが勘案しているのか。　③保護者としては、統廃合の方針が出れば、新入生の入学を控えることになる。そういう傾向となるのか。　④統廃合は子どもの人数・動向のみで決定したのか。　⑤子どもの数を増やす政策はできないのか。　⑥宇目緑豊中との統合を検討したのか。　⑦「統廃合もやむを得ない」の数値については再編肯定のパーセンテージではなく、反対意見の意味あいが強いと感じた。　⑧直川での説明会では賛成意見は出ず、反対意見が多数（大半）を占めた。　⑨今回の再編案を撤回してほしい。
102	佐伯の方へ学校が変わってしまうと登下校がとても心配なので反対です。
103	急激に人数が増えることにより、今まで学校に普通に通学できていた児童、生徒がすんなりと馴染めるか不安要素がある。新たにできた学校ではなく、既存の学校へと複数の学校が通う事になり、色々な問題がでる心配がある。 ※特に中学生　蒲江のように小中一貫校のようにできないのか。
104	会に参加して、感じたことは、新聞の報道が先であったこと、会場で謝罪したことも踏まえ、パフォーマンスなのだろうと感じました。何度も(案)とおっしゃっていましたが、結局は決定事項だと感じました。教育委員の皆様も大変だと思いますが、もし、パフォーマンスでないのだとしたら、要望であったように、子どもたちの意見(アンケート)をとるべきだと思います。本来であれば、自由記載も公表することが公平性を感じます。悲しいですが、色々な意味でこの会(小中統合)が、佐伯市の未来が見えた気がします。
105	統合はやめてください。子供達が大好きな鶴見から他の地域に行かせないでください。松浦小学校では今、学年関係なく仲良しで協力しながら学校生活を送っております。中学、小学校、子ども園との交流や地域との交流がたくさんあります。また、鶴見が大好きな子ども達が鶴見の郷土を授業でしています。佐伯に行ってしまうとそこの地域の郷土になり、鶴見のことは勉強できないと意見会の時に思いました。また、地域イベントにも参加していただけたらと話もありましたが、鶴見のメンバーが佐伯の小、中学校で伝統の松小ソーランや鶴中ソーランを練習できますか？絶対にできません。また、中学2、3年生は受験でとても大事な時期です。交流があるとはいえ、そんなに多く交流ができない中で受験という大事な時期に異動させることはとてもマイナスになると思います。本当に統合はやめてほしいです。子ども達は鶴見がいいというか子供がたくさんいます。
106	※無回答
107	再編はやめてください。子供達は地域が大好きでイキイキしています。地域のイベントにもたくさん参加し、地域の郷土にたくさん触れています。合併して佐伯市内の学校に行くのはとても嫌がっています。地域の方々とのつながりも無くなり、ずっと続いている中学校ソーラン節、松小ソーラン、そのために作ったハッピもあります。絶対統合反対！
108	鶴見の意見交換会に参加した際、意見交換会の議事録を30日までに佐伯市ホームページに載せてくださいと要望したところ、教育委員会の職員の方が、一箇所ごとではなく前半と後半に分けて議事録を載せますとおっしゃっていました。しかし30日正午になってもホームページにはありませんでした。嘘をつかれショックを受けています。この意見交換会も一度だけではなくせめてもう一回だけでも開いて欲しいと、何度も訴えましたが、教育委員会の方に、『私達も毎日遅くまでやってますからね』と言われ唖然としました。コミュニティセンターの入り口で保護者と教育長やその他の職員の皆様と追加でお話をさせて頂きましたが、その時にも再度意見交換会をと話したら、お名前は存じ上げませんが、職員の方が『では今度教育長と座談会というのをやりますか！』と仰ったので、私も『そうしてください。その方が意見もたくさん出ますよ。』と言ったところ教育長が『でも言ったらいけないこと言いそうだなぁ(笑)』と職員の皆様に笑い飛ばされました。すごく馬鹿にされたような気がして腹が立ちました。初めに述べたホームページや意見交換会の追加要望についても、こちらは要望していますが、そちらが本当に検討しますという姿勢でない事はわかりました。正直この会は意味があるのか疑問に思います。その事から今後再編についてや今後決定した後の説明会で話した事も本当に実行してくれるのか不安です。市民には誠意ある態度、言動で対応してくださる事を願っています。今回の意見交換では私は不誠実だと感じました。
109	少子化の中、統廃合は、止むをえない選択なのは、理解しています。しかし広範囲の校区を統合することは、こども達にとって、長距離の通学時間、人間関係、災害時の対応など不安要素がたくさんあります。不公平がないように一斉に統合する計画を立てているのでしょうが、一斉に行うことで、各地域のこども達へのフォローができるのでしょうか。　　計画を推し進めるのであれば、統合後、通学する際の安全面やこどものケアなど、どの程度体制を整えるのかも考えて提示して欲しいです。
110	・小学校をなくさないでください。・子どもはとても楽しく過ごしています。・地域との交流で子どもから大人までとても楽しいです。松小ソーラン鶴小ソーランをなくさないで。
111	加速度的に人口減少が進む本市にあって、旧郡部はとくに少子化・高齢化が著しく、鶴見地域ではすでに区単位というよりも大字単位で限界集落を迎えている。その中にあって子どもたちの環境、とりわけ人と人とのつながりはごく限定的なものとなっており、いくらインターネットによって情報の反乱した中にあっても、実生活上でのコミュニケーション能力を培うのは非常に厳しいのではないだろうか。アンケートの結果として顕著な「小人数よりも通常規模のクラス」を望むのは当然のことであると思う。小規模クラスの手厚い指導云々というのもわからなくはないが、それはすなわち狭い世界でしか人と関われないことでもあると思う。子どもの生育環境を充実させてやるのは大人の課された重要極まりない使命だと思う。
112	自分の卒業した学校が消えていくのは寂しいですが、子どもの未来のためを思えば再編は前向きな決断だと思います！
113	再編やむなし！
114	統廃合反対！・地域が元気がなくなり過疎化が進む。・子どもたちの声がきけなくなる。・鶴見の文化が失われる。・子どもたちも通学に時間がかかり、その分勉強時間や家族・友達と過ごす時間がなくなる。・鶴中ソーラン、松小ソーラン、鶴見音頭がなくなってしまうのでは。・郷土に根ざした学習・地域とのつながりがなくなってしまうのでは？　橋が架かれば状況が変わるのでは。
115	本匠小のように海辺の学校として残す方法はないのでしょうか。残してほしいです。

116	案なのに1つしかないのはおかしい。選択できるように最低2つは案を出すべき。子ども第一というが、それならなぜ子どもにアンケートをとらないのか。子どもの意見も聞くべき。上堅田に一気に統合するのではなくまずは米水津木立鶴見を統合してその後に今出ている案にしてほしい(これは子どもからもよく聞く意見)。今まで統合した蒲江なども最初はそんな意見だったけど今ではいい感じになっていると言われても、必ずしも今回もいい感じになるとは言えない。いずれ子どもの人数が少なくなるからもう統合するのではなく、子どものことを第一に考えるなら段階を踏むべき。いくら「子どものため、これは決定事項ではない」と言われても一気に統合させるのは、どうせいずれ統合しないといけないから一気に済ませた方がお金も手間もかからない=教育委員会や市の都合としか考えられない。児童クラブについて、教育委員会ではなく子ども福祉課の管轄だと言われても保護者や子どもからしたら同じ学校の流れ。そこは足並みを揃えて同時に話を進めるべき。形だけの意見交換会やアンケートではなく、ちゃんと子どものことを考えてほしい。でないとどんどん佐伯市末端地域から子どもが出ていき、その後もっといい子育て環境のある場所に佐伯市から出ていく家庭も出てくると思う。
117	アンケート結果約44.4%とあり、半分の方が回答をされていませんが、再度アンケートは取らないのでしょうか？
118	保護者に伝える前に、報道が先になった理由を教えて頂きたいです。回答よろしくお願いします。
119	誰かが動き出さなくては行けない難しい問題に動き始めて頂いた事に感謝します。　我が子の学校生活から今の児童減少の勢いが凄く、まずはびっくりしています。一番は学校生活を送る子どもがたくさんの友達に会える事を楽しみに毎日通える環境である事を一番に思います。地域の良さや地域ならではの経験は、保護者が簡単に諦めず、子どもにあんな体験をさせてあげたいと、地域の中で声をあげれる地域作りが出来る様にお手伝い出来る事があれば是非お手伝いしたいと考えます。　全てを学校現場だけに任せず、地域で出来る事もまだまだあると思うので。子どもや保護者にとって前向きな統合計画になる事を願います。
120	入学にあたり、同級生の人数や友達関係などを考慮し、迷いましたが、校区外の学校への入学を選びました。少人数もいいなと思う反面、高校生になると急に大人数となり、同性とのコミュニケーションを図るのに苦労するのではないかと思いました。小学校のうちから同級生のお友達と関わることで色々学べることもあると思いました。地区から小学校や中学校がなくなることは寂しいとは思いますが、こどもの事を考えると合併には賛成です。合併が決まり次第、どちらに通うか選択できることもありなのではと思います。校区外に通いたいが知り合いがおらず、書類に困る方もいらっしゃるのではないかと思います。そのような書類を免除などの対応があってもいいのではと思いました。
121	生徒の人数が少なくなることで統合されるのは仕方ないことですが、少人数だからこそ体験経験できる良いこともたくさんあると思います。そして、地域でしか体験できない学習もたくさんあります。それを経験できなくなるのはもったいないことだと思います。高校、大学に行けば、必ず大人数で学ぶときが来るから、子どもがいるうちはそう急いで統合しなくてもよいのではないでしょうか。新しい形にしていくことがよいこともあるけど、昔の形を大切に残しておくことも大事なことだと思います。
122	子どもが少なくなり、統合は避けられませんが、受け入れ体制がちゃんとできるのか心配しています。家から遠くなります。東南海、南海地震が来た時等緊急事態には保護者がすぐに迎えにいけない場合、子どもたちが安全に避難でくる場所の整備が必要だと思います。ぜひ安全な避難場所を確保して下さい。通学路となる橋や道路の整備も力を入れて下さい。
123	１回では足りないと思うし、もっと具体的な内容もほしい
124	再編に反対です。反対です。反対です。佐伯市の方針、『子は宝』を軸に誰もが新しいことに挑戦するまちにする……。（50年ぐらい前の佐伯市の教育方針？、佐伯市で暮らす人はバカ‼佐伯市から外に出なさい‼佐伯市から外の学校に行きなさい‼などなど先生から教わりましたが⁉今は、どうですか？）学校が再編（統廃合等）になったらその地域から外へ出ることになります。その地域の愛着もなくなります。その自分が住んでいる地域がわからなくなります、大人目線と子ども目線は違うと思います。一定規模の児童生徒数の確保するために再編するとのことですが、一定規模って必要ですか？一定規模の根拠は何ですか？教育方針の教科書に書いているからですか？少人数の授業もいいと思います。将来、佐伯市の児童が少なくなったら大分市の小学校統廃合ですか？（近い将来、間違いなく佐伯市から一定規模の生徒数が少なくなりますが……。）ひとりでも学べる学校作りが必要。アンケートですが、国から　県からの指示ですか？アンケートの内容を見ると担当者は面倒くさがりのように感じました。再編のアンケートは博打ですか？するか、しないか？どちらでもないか？善か？悪か？子供の為ですか？地域の為ですか？教育委員会の為ですか？お金の為ですか？（私は、お金の為に感じましたが）なぜ、なぜ、なぜ、前向きなアンケートはないのか？不思議です。子供の為の解決案が全く無い‼なぜ、なぜ、解決策がないから？どうでもいいから？役人が楽したいから？仕事だから仕方ないから？意見がないから？小さな集落はどうでもいいから？他の、県　市がそうしてるから　物まね？どうでもいいのか　アンケートをとる前にもう少し考えてまとめた方がいいと思います。アンケートに急速な少子化に伴う児童、生徒数の減少、学校施設の老朽化などを踏まえこどもたちにより良い教育環境を……。？？？急速な少子化ではない‼50年以上前から減少はわかっている。ウソダメです？。知らないのかな？佐伯市は過疎化で問題になってましたよ。今も、。学校施設の老朽化は、修繕して使う。私は、大事な大切で大切な服は修繕してクリーニングして着てます。靴も修繕してはいてます。通学に1時間以上かかるから再編……。なぜ、通学に1時間以上かかったらダメなのですか？バス通学しましょう。バスの中でビデオ授業しましょう。バスの中で学級会しましょう。バスの中で哲学の勉強しましょう。バスの中で遠足気分で通学しましょう、生徒数の少ない学校にみんな集まって授業しましょう。バスで各地域の学校めぐり授業しましょう。今日は、佐伯市内の学校　明日は、本匠の学校　次の日は上浦の学校　島の学校　蒲江の学校などなど　散歩しながら授業　などなど。いろいろありますが。　まとめ、再編（統廃合）は反対。①増やさないでいいから減らさない‼今の学校はそのまま。増やすのは難しく、減らすのは簡単。貯金を増やさず、貯金を減らさず現状維持。地域の子どもたちを増やさないでいいから子供たちを減らさない。②勝たないでいいから負けない。生徒数の多い学校に吸収されない、少ない学校に吸収。国、県からの要望に屈しない。③拡張せず収縮する　各学校施設の維持管理は必要最低限で老朽化対策で十分。必要な校舎のみ対策。子供は間違いなく増えません。　④前に進まず撤退する。近い将来は、佐伯市の子供たちは大分市内の学校に通学する。（交通機関が今より便利になっているでしょう、（大型のヘリコプター通学　空飛ぶ通学バス）佐伯から子供が消える、そして、大人も消える。人がいなくなり、地域がなくなり、合衆国（カンボジア、タンザニア）の佐伯市に変貌する
125	H29年に蒲江小中統合しましたが年々少なくなってきている。蒲江の今後も心配している。